

2020年10月16日

腫瘍の治療のため通院・入院される患者さんへ
病理検体及び診療情報の研究目的での使用について
(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体及び通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号)の規定により、研究内容の情報を公開し、研究対象となる方等が拒否できる機会を保障することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせ、拒否される場合などがありましたら、以下の連絡先・相談窓口へご照会ください。研究への検体及び診療情報の利用を拒否された場合も不利益を受けることはありませんし、個人が識別される情報の利用または他の研究機関への提供を停止します。また、この研究については、香川大学医学部倫理委員会の審議にもとづく医学部長の許可を得ています。

[研究課題名] 染色体不安定性による腫瘍性変化を調べる観察研究

[研究機関の長] 香川大学医学部長

[研究責任者名・所属] 香川大学医学部病理病態学・生体防御医学講座腫瘍病理学 教授 松田陽子

[研究の目的] 本研究では、病理診断用の試料の一部を用いて、腫瘍の染色体の異常に関連する変化を調べます。悪性腫瘍は死因の一位を占める疾患であり、本研究によって、悪性腫瘍の原因の解明を目指します。

[研究の方法]

○対象

乳癌、大腸癌、胃癌、膵癌、甲状腺癌、膀胱癌、頭頸部扁平上皮癌、腎細胞癌、肝臓癌、前立腺癌、神経膠芽腫、肉腫、副腎癌、神経内分泌腫瘍のため、2000年1月から2020年12月の期間に、手術を実施された方

ただし、国立研究開発法人国立がん研究センターの患者さんは、2005年以降に手術を実施された方を対象とする

○利用する検体・診療情報

検体：手術時に採取された検体

診療情報：年齢、性別、既往(基礎疾患、診断日)、治療開始日時、生存期間

[外部への検体・診療情報の提供]

提供はありません。

[外部からの検体・診療情報の提供]

金沢大学、東邦大学、神奈川県立がんセンター、東京大学医科学研究所、国立研究開発法人国立がん研究センター、自治医科大学、大阪大学との共同研究で実施します。利用する外部施設所持の検体・診療情報等は、患者さん個人が特定できない状態とし、郵送及び電子システムを使用して、金沢大学、東邦大学、神奈川県立がんセンター、東京大学医科学研究所、国立研究開発法人国立がん研究センター、自治医科大学、より本学へ提供されます。

[研究組織]

香川大学医学部病理病態学・生体防御講座 腫瘍病理学 教授 松田陽子

香川大学医学部病理病態学・生体防御医学講座 腫瘍病理学 成澤裕子

香川大学医学部 消化器・神経内科学 教授 正木 勉

国立研究開発法人国立がん研究センター がん幹細胞研究分野 分野長 増富健吉

国立研究開発法人国立がん研究センター 東病院臨床腫瘍病理分野 ユニット長 小嶋基寛

自治医科大学医学部 病理学・病理診断部 教授 福嶋敬宜

大阪大学医学系研究科 がんゲノム情報学 教授 谷内田真一
金沢大学 がん進展制御研究所 腫瘍制御 教授 源利成
東邦大学 医学部病理学講座 准教授 本間尚子
神奈川県立がんセンター臨床研究所 がん分子病態学部 部長 宮城洋平
東京大学医科学研究所附属病院抗体・ワクチンセンター/滋賀医科大学臨床腫瘍学講座
特任教授/教授 醍醐 弥太郎
愛知県立がんセンター・医長 澤木正孝
横浜市立大学附属病院・客員研究員 山田顕光
九州大学形態機能病理・教授 小田義直

[研究代表者]

香川大学医学部病理病態学・生体防御講座 腫瘍病理学 教授 松田陽子

[研究分担者]

香川大学医学部病理病態学・生体防御医学講座 腫瘍病理学 成澤裕子

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

病理病態学・生体防御講座 腫瘍病理学 担当医師 松田陽子

電話 087-891-2109 FAX 087-891-2112